

■藤井清水 作曲家、民謡研究家。留学せずに軽々と作曲、西欧のレコード逆輸入で知られ、民謡楽譜化で貢献多大。

ふじいきよみ

帝国憲法発布1889=

広島県安芸郡焼山(呉市)で、由緒ある医家藤井元逸の三男に生まれる。

名手だった母ギノが奏でる三味線の音を聞き分け、調子を合わせることができたという。

日清戦争始・1894= 5歳：

日清戦争終・1895= 6歳：焼山尋常小学校に入学、

義太夫の指導者が来て兄たちに稽古をつけていたこともあって、自然に邦楽が身について行く。

子規句歌革新1898= 9歳：

Bushidou・・1899=10歳：卒業して、呉高等小学校に進み、  
ピアノ国産化・1900=11歳：父の開業に従い、吉浦町に転居。

日比谷公園・1903=14歳：卒業。この年、姉が死去。

日露戦争終・1905=16歳：福山中学校(誠之館)に入学、

韓国反日暴動1907=18歳：

在学中から、独学で作曲を始め、

韓国併合・・1910=21歳：卒業。回覧雑誌を編集。美術や英語にも才能を示してそれらの方向への進学を勧められるが、作曲した數十曲を広島高等師範教授で「港」の作曲家吉田信太に送ったところ、日本の将来のためにと強く勧められ、

大逆事件判決1911=22歳：\*東京音楽院受験科に入学し、自ら作詞で「水鶴」を作曲し、初めて発表。

明治天皇没・1912=23歳：親友になった権藤円立とともに、東京音楽学校甲種師範科に進学、

大正政変・・1913=24歳：心臓を患って、1年間休学、その間、同人誌を作る。

21ヶ条要求・1915=25歳：東京音楽学校会誌に、入選作として「日和下駄」が掲載され、

民本主義・・1916=27歳：東京音楽学校甲種師範科を卒業。音楽教員免状を得、帰郷して音楽講習後、志願兵となって入隊、

ロシア革命・1917=28歳：満期除隊し予備役。以後、短期間ながら度々召集される。「千鳥」作曲。

本格政党内閣1918=29歳：福岡県の小倉高等女学校教諭となり、移住後、結婚。

ペリー条約・1919=30歳：母が死去。

大暴落・・・1920=31歳：長女が誕生。4曲を初出版後、以後立続けに楽譜を出版。野口雨情「河原柳」作曲以降、雨情とコンビになり、この年、アメリカから帰国した山田耕作から高く評価され、

原敬首相暗殺1921=32歳：京都高等女学校の音楽担任後、大阪に転居し、大阪北市民館に勤務。市民館館長志賀志那人や権藤ら\*同志と《楽浪園》を創立し、野口雨情の参加も得て、以後雨情作詞で次々作曲。山田耕作の推薦で、宝塚歌劇「成吉思汗」「燈籠大臣」「平重衡」などを作曲。

水平社結成・1922=33歳：次女が誕生するも、長女が夭折。山田耕作・北原白秋編《詩と音楽》創刊号に「民衆と音楽」を執筆。野口雨情「信田の藪」を作曲。大阪時事新報の依頼で「英國皇太子御来朝奉迎歌」を作曲。

関東大震災・1923=34歳：長男が誕生。辞職し、大阪と神戸の高等女学校嘱託となる。野口雨情「足柄山」「港の時雨」を作曲。雨情作詞童謡集「母さん里」出版。帝劇で歌劇「乱曲」上演。《九州新聞》で山田耕作が「自分が留学して苦心してきたことを藤井は苦も無くやっている」と述べ、海外での評価も高く、ロンドンで発行の国際紳士録にも掲載、

護憲三派圧勝1924=35歳：長男が夭折。兵庫県武庫郡に転居。楽浪曲という新しいスタイルの曲を作詞作曲し、演奏して回っていたが、成長発展して芸術教育協会を創立に至り、理事となる。雨情・権藤円立と朝鮮旅行。\*イタリア・ビクターラ社が「巷の時雨」「佐渡が島」などをレコード化、逆輸入されて関係者を驚かす。

治安維持法・1925=36歳：三女が誕生。ラジオ放送開始とともに、作品が初放送される。

円本時代始・1926=37歳：東京武蔵野村吉祥寺に転居し、作曲家生活に入る。童謡曲集「夢のお国」出版。富山で童謡と民謡大演奏会を開いたのをはじめ、全国各地で演奏会・講演会をする。

金融恐慌・・1927=38歳：次男が誕生。広島県福山で新作発表会。仏教音楽協会成立にも尽力、仏教音楽研究や新仏教音楽の創作。

共産党事件・1928=39歳：日本民謡協会の設立に参加し、理事。広島高等師範で演奏会。東京放送局から「三味線民謡と小曲」放送。

世界恐慌・・1929=40歳：雨情らと満州朝鮮を演奏旅行。

海軍軍縮条約1930=41歳：弘田竜太郎と《世界音楽全集》の「第13巻日本民謡編」を編纂し、採譜民謡と自作を収録。大日本作曲家協会が創立され理事。自作を自演したレコードが発売される。

満州事変・・1931=42歳：父が死去。三男が誕生。居宅を新築。

五一五事件・1932=43歳：母校校長の依頼で、葛原しげる作詞「福山誠之館中学校第二校歌」を作曲。大日本作曲家協会年鑑を編集。

国際連盟脱退1933=44歳：武蔵野女子学院講師。東京音楽協会会員。日本歌謡協会が創立され役員。

帝人疑惑事件1934=45歳：故郷の広島県呉市に後援会(きよみ会)が発足。

芥川直木賞始1935=46歳：広島放送局から自作歌曲を伴奏して放送。

日中戦争始・1937=48歳：

健保+総動員 1938=49歳：雨情らの作詞で、合唱歌曲集「川しぶき」出版。

第二次大戦始1939=50歳：町田嘉章に協力して、全国の民謡採譜を始め、

日米開戦・・1941=52歳：戦局が進むなか、ともに、NHK嘱託となり、「日本民謡大観」の関東・東北編の採譜を続けるが、

・・・・・1942=53歳：日本民謡コンクール審査員となり、文部省から児童唱歌の作曲を依頼され、

創価学会検挙1943=54歳：

年金+総武装 1944=55歳：\*東京都立戦時託児所職員を委嘱された帰りに、灯火管制の暗闇で転び腹部打撲、翌日病院に運ばれるも、一般患者とともに順番を待ち、手遅れとなって没した。

翌年からNHK「日本民謡大観」が刊行されて行く。楽曲は、民謡・童謡・合唱曲・校歌など1889曲にも及ぶ。